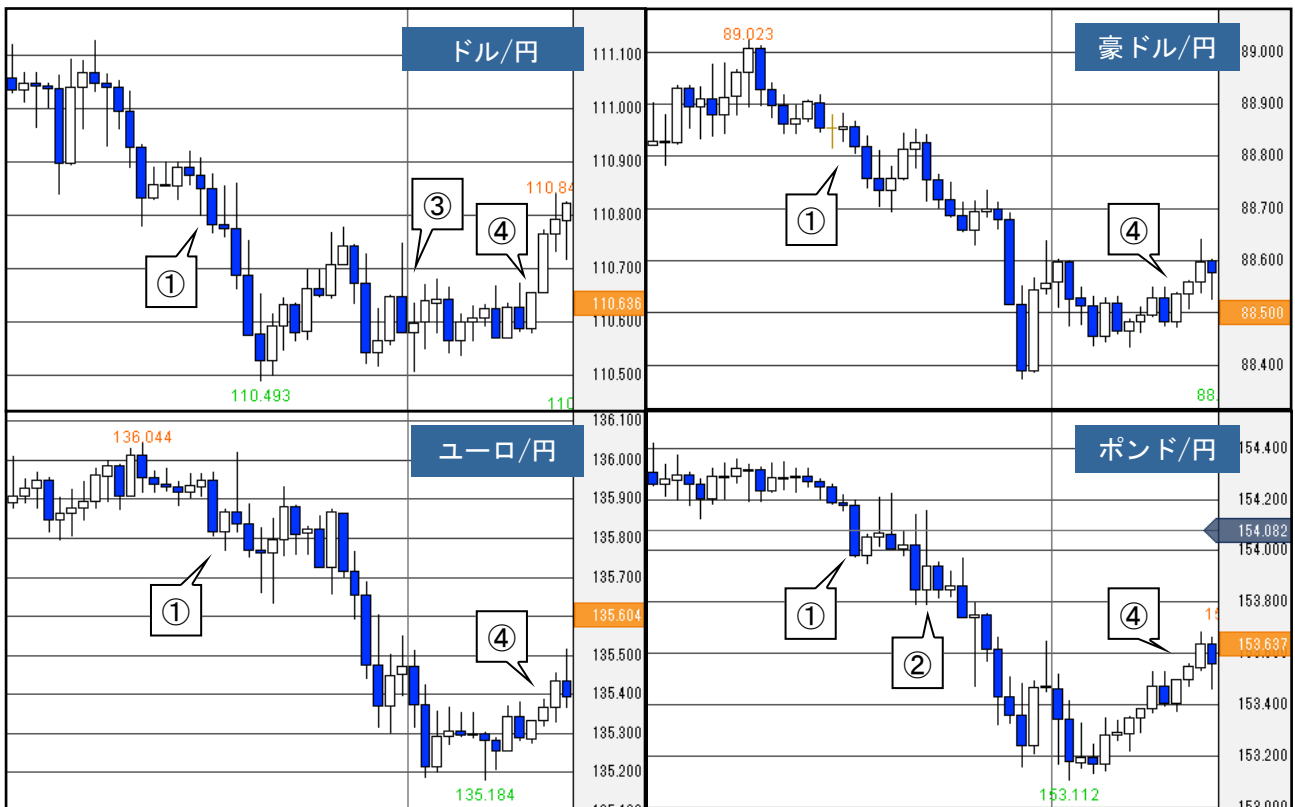


1月22日(月曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

米政府機関閉鎖で「やや」ドル安に

19日(金)の為替相場



期間：19日(金)午前7時10分～20日(土)午前6時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 米議会でつなぎ予算の審議が難航しており、政府機関の一部閉鎖が現実味を帯びてきた事からドルが下落。ただ、アジア株が総じて堅調だった事からリスク回避の動きは限られ、クロス円は概ね底堅く推移した。
- ② 英12月小売売上高(自動車燃料含む)は前月比-1.5%と市場予想(-1.0%)以上に減少し、前回(+1.0%)から大きく減速した。
- ③ 米1月ミシガン大消費者信頼感指数・速報は94.4と、市場予想(97.0)を下回り、前回(95.9)から低下した。
- ④ 20日以降に米予算が失効して政府機関の一部が閉鎖される恐れがある事や、21日にドイツ第2党の社会民主党(SPD)がメルケル首相率いるキリスト教民主・社会同盟(CDU・CSU)との連立の是非を採決する事などから、NY市場は様子見ムードが支配的であった。なお、終盤にはドル/円やクロス円が買い戻されるなど、ポジション調整の動きが見られた。

19日(金)の株・債券・商品市場				
日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
23808.06 △44.69	6005.806 ▼8.760	3487.864 △13.110	7730.79 △29.83	13434.45 △153.02
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
26071.72 △53.91	0.0850% △0.0010	2.866% △0.054	1.337% △0.008	0.568% ▼0.004
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.0647% △0.0214	2.6592% △0.0336	63.37 ▼0.58	1333.10 △5.90	

外為注文情報(ドル/円)

2018/01/22 08:10 現在 [110.64-110.64]		
Sell	Rate	Buy
■	111.10	□
■	111.05	□
■	111.00	□
■	110.95	□
■	110.90	□
■	110.85	□
■	110.80	□
■	110.75	□
■	110.70	□
■	110.65	□
■	110.60	□
■	110.55	□
■	110.50	□
■	110.45	□
■	110.40	□
■	110.35	□
■	110.30	□
■	110.25	□
■	110.20	□
■	110.15	□
■	110.10	□

本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	110.100-111.700	135.000-136.700	88.000-89.200	152.900-154.700

【ドル/円】

米上院議会で予算案の審議が進まず、現地時間20日午前0時につなぎ予算が失効。これを受けて米政府機関の一部が閉鎖に追い込まれた事が週末のニュースを賑わせている。ただ、市場はこれを米経済に大きな影響を及ぼさない「政治的パフォーマンス」である事を理解している。

米政府機関の閉鎖はこれで19回目(1970年代以降)となるが、過去の例では多くが短期間(最短1日、最長21日)で終息している。閉鎖期間が長期化すれば影響は避けられないが、中間選挙を11月に控えて与野党ともに「弱腰」と見られたくない半面、「悪者」にもなりたくないはずだ。今回も泥沼化する可能性は低く、週明けのドルの下落が小幅にとどまっているのはこうした見方が背景にあるからだろう。

前回2013年の閉鎖期間中(16日間)のドル/円は、前半こそやや下落したが、(協議が進展し始めた)後半には完全に持ち直した。今回も、協議の行方を睨んで神経質な展開が見込まれるが、それほど深い押しにはならない公算が大きい。

執筆者: 神田

本日の注目イベント ※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
1/22(月)	15:00	◎	(米) 上院、2月8日までのつなぎ予算採決	—	—
	未定		(ユーロ圏) 財務相会合	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承願いたします。